

与論島の観光客を増やすために

交通費について

- **夏限定！！フェリー代〇〇〇〇〇円キャンペーン！！！！！！**

→人間は「限定」という言葉に弱い。

→人間はお得感を感じると行きたい、今行かないといけないという衝動に駆られやすい。

(例えば、フェリーの2等だと通常13,370円だから9,900円にするなど桁を1桁切るだけでもお得感が増す。)

(その他、〇〇%OFF!! という表記もあり。〇〇〇円引きよりはお得に感じる気がする)

- **与論島に行けば行くほどお得キャンペーン！！！！**

ねらい⇒リピーター

→行けば行くほど安くなるのでどんどん行こうと思う。

(例)

1回目→通常値段	2回目→10%OFF
3～4回目→20%OFF	5～6回目→30%OFF
7～9回目→40%OFF	10回以上→50%OFF(半額)
20回以上→70%OFF	

→与論島のみでもいいし、鹿児島島の島全体でもいいと思う。

ただ、与論島が割引分をフェリー会社や飛行機会社に負担するのは厳しいから、直接、フェリー会社や飛行機会社に相談が必要。

*1人から高額な収入を得るよりも、リピーターを増やしてたくさんの人に少しずつの収入を得るという考え方にする。

→そうすることで、**観光客の一人一人の負担が減り、また島に訪れやすくなる。**

- **3ヶ月前の予約で〇〇%OFFキャンペーン！！！！**

→割引になる条件を作ると、自分たちの努力次第(早く予定を立てて予約すること)で割引になるチャンスがあるということでこの機会に是非行っておこうと思うはず。

修学旅行生への待遇

● 1島1校をもっとアピール

→役場の方の話を聞いたり、ウェブサイトを見たりしてみると、この1島1校の修学旅行生や合宿生への待遇はとても魅力的なものだった。

私も小学校・中学校・高校にこういう取り組みがあっていると知っていたら、与論島に行きたいと思った。

ウェブサイトを見てみる1日1日がとても充実していたし、とても楽しそうだった。

そして島の人がすごく協力しているのがわかって、フェリーで帰るときの別れのテーブルはとても魅力的だった。最後の最後まで島の人の温かさを感じられるような気がした。

⇒この取り組みはとても素晴らしいアイデアだと思うのでもっとアピールすると思う。

⇒私はこういう取り組みが合っていることを与論島に行くまで知らなかった。

⇒全国の学校にこういう取り組みをしていることを知らせるといいと思う。

→その1島1校のパンフレットを作って全国の学校へ配る。

とても魅力的な取り組みだから絶対に食いつく学校があると思う。

⇒その中で来た人の中には、島へ魅力を感じて、大人になって島へ移ってくる人もいると思う

写真関係に力を入れよう

→現代人は何でも写真に収めることが好きだから

⇒写真スポットを作る(茶花海岸のステージ?の様なもの)

南国感がでるスポットがあといくつか欲しい

* こういう所には撮影台も欲しかった

→いい材料があるのに自分たちも一緒に写るとなったときに撮影のしようがなかった。

(誰も撮ってくれる人がいないのでせめてタイマーにして撮ることができるような撮影台が欲しかった。)

→海に行ったときや観光スポットに行ったときに、それらをバックにいい写真を撮りたいから(特に海、特に百合ヶ浜)

→貸し出し (例) 自撮り棒、防水ケース、ドローン、撮影係の人

→Instagramの活用 (海、カフェ、居酒屋、与論島感が出るものでインスタ映えを狙う)

→絶景スポットの紹介(朝日、夕日、百合ヶ浜などなど)

⇒日の出、日の入り、満潮、干潮の予想時間の紹介

百合ヶ浜のアピール

あんなにきれいな海に行ってテンションが上がらない人はいない！

だから、全国に百合ヶ浜をもっと広める。アピールする。

- ・海中公園もすごくよかった。普段の生活では見れないもので非現実感を楽しめた。
- ・星砂のアピール（年の数だけ見つけられたら幸せになれる説を使う）

→ケースの提供も

船の時間を充実させる

- コンセント
- コンビニの品揃えを
- 撮影台(甲板)→海をバックに写真が撮れるように
- ソファの増加
- プライバシーをもっと大事にして欲しい

その他

- 海のそば、道の途中に休憩所、いす(ベンチ)を設置する
- 各浜に水道、自動販売機(ゴミを浜に捨てる人が出てこない様に販売機の横にゴミ箱)、ベンチが欲しくなる
- 百合ヶ浜のシャワールームが不便すぎた
→カーテン、ロッカー(荷物を置くところ)、シャワーの個数
- 百合ヶ浜に行ってる間の荷物管理
→コインロッカーの設置